



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日のお客さんはどんな悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N 「次の方どうぞ～」

患者 「おはようございます」

Dr. N 「おはようございます。どうされました？」

患者 「私はとあるレストランに取り付けられた扉と取手です。いつも来店されるお客様が扉を開けるのに苦労されており、困っています」

Dr. N 「なるほど。ちょっと診せてもらえますか？」

患者 「はい。こんな感じです (図1)」



図1 重厚な扉

Dr. N 「おお、とても重厚な扉ですね。これは料理にも期待が膨らみます」

患者 「ありがとうございます。お店の雰囲気を出す為に、わざわざ古い時代の扉である私を探して、取り付けくれたんですよ」

Dr. N 「持ち手の部分も良いですね。では早速… (図2)」



図2 扉を開けようとするものの・・・

Dr. N 「ありゃ、開かないぞ。ひょっとして凄く重いとか？えいっえいっ。うーん、びくともしませんね」

患者 「何してるんですか？向こう側に押して開けるんですよ」

Dr. N 「え？ そんな・・・あっ、本当だ開いた (図3)」



図3 押し開きのドアでした

患者 「でしょ。お医者さんも他のお客さんと同じような間違いをするんですね」

Dr. N 「そりゃそうですよ。何故押しで開ける扉なのにこんな輪っかを付けたのですか？」

患者 「実は、もともと私は引いて開けるように作られていました。ところが、このお店に移設される時に、外の通行の妨げにならないように、わざわざ内開きに改造して貰ったんです\*1」

Dr. N 「なるほど、原因はそれです。人はある操作対象と対面した時に、どういった操作を行えばどのように振る舞うかを考えます。例えばあなたの場合、2つの扉が左右対称形であり、真ん中に隙間があるので、たぶん両開きの扉だろうと考えます」

患者 「確かに両開きの扉です」

Dr. N 「次に、その扉を開ける手がかりを探します。ここでは、2つの黒い輪っかが取手のように取り付けられており、手前に持ち上げることが可能だと気づくでしょう。つまり、人はこの輪っか部分を引っ張る事で扉が開くのではと考えて行動するわけです」

患者 「なるほどそうだったんですね。じゃあ、中から外に出て行く人が戸惑うのもそういった理由ですかね？」

Dr. N 「えっ、まだあるのですか？ ちょっと診せてください」

患者 「はい、どうぞ (図4)」



図4 扉の内側

Dr. N 「これはひょっとして・・・」

患者 「はい、もちろん引いて開けるんです！（図5）」



図5 中から開けるには、無理矢理掴んで引っぱる

Dr. N 「やっぱり（苦笑）。さて、この場合は入る時よりも更にやっかいです。入るのは扉自体を押せば可能ですが、出るにはどこかを掴んで引っぱらなくてはなりません。しかし、この扉には掴むことのできそうな部分がどこにも見当たりません」

患者 「よく見てくださいよ、縦棒の側面に穴がありますよね。元はかんぬきの穴だったんですが、ここを両側から掴むんです」

Dr. N 「これじゃあ駄目ですよ。とても持ち手には見えません。そもそもこんな太い部分は持ちにくく、力も入りません（図5）。しかも、この扉は重厚です。男性の私でさえ苦労します。女性だとなおさらでしょうね」

患者 「あっ確かに、昨日も女性のお客様がどうしても開けられず、助けを求められていました」

Dr. N 「BADUI を作らないようにするには、そういったところに注目し観察するのがとても重要です」

患者 「診断ありがとうございます。悪いところがよくわかりました」

Dr. N 「わかって頂けたようで良かったです。カルテに書いておきますので直してもらって下さい。折角いい扉なんですから、デザインを活かしつつ是非修正してもらって下さいね！一番簡単なのは、扉の開閉方向を変更することだと思いますよ」

患者 「ありがとうございます。早速建物のオーナーと相談してみます」

今回の症例はいかがでしたか？読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

捕獲した貴重な品々は「楽しい BADUI の世界」<http://badui.org/> にて公開中。

Dr. トモクワの UI トリビア

\*1 そもそも、人が多く集まるようなレストランの扉が内開きなのは言語同断じゃ。国や地域によっては、火事などの際にスムーズに避難ができるように、必ず外開きになるように規制されておったりするぞ。中には身体をぶつければ鍵が開くようになっていたりもある。「panic bar」や「crash bar」で調べて見よう。

診療カルテ	
ID	BADUI-006
氏名	重厚な扉と取手
原因・主要症状・経過など	<p>扉を開ける事が出来ず悩む人多数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 押す扉を引いて開けたくなる</li> <li>○ 引く扉を押して開けたくなる</li> </ul> <p>・扉の開閉方向に難アリ</p> <p>・役に立たない引きたくなる取手</p>
処方・手術・処置など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能なら扉の開閉方向を逆にする</li> <li>・表の取手をとり外から固定する！（引けなないようにする）</li> <li>・裏（内）に引きたくなる取手をつける！</li> </ul>
	<p>2013.6.15</p> <p>開け方で悩む扉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 押し開ける扉なのに引きたくなる黒い輪の取手がある</li> <li>○ 引いて開ける扉なのに引きための適度な力が無く押し開ける（力の弱い人だと難しい）</li> </ul> <p>→ 開閉方向に問題アリ！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 押し/引くことのヒントを！</li> <li>★ 押し開ける/引きたくなるデザイン</li> <li>○ 逆のヒントを与之ない！！</li> <li>★ 押し開ける/引くというヒントはど</li> </ul> <p>開閉方向を変更できない場合には 安価にデザインを改善する方法はないか？</p> <p>中村 聡史(明治大学)</p>